

報道関係者 各位

2024年6月3日

日本医学教育学会・機関誌『医学教育』特集号を無料公開 特集「インクルーシブ教育を考える」

合理的配慮
のヒント

本年4月から、合理的配慮が義務化されました。日本医学教育学会では、機関誌『医学教育』55巻2号（2024年4月25日発行）において、医学・医療者育成に求められる「インクルーシブ教育」をテーマに特集を組みました。障害のある医療者の体験や、先進的取り組みから合理的配慮について考える特集となっています。その全ページをJ-STAGE*ウェブサイト¹に無料公開しましたのでお知らせします。

令和6年4月1日に「障害者差別解消改正法」が施行されるに伴い、合理的配慮の提供が義務化されました。本特集は、医学教育における合理的配慮の現在地と今後の目指すべき方向を示し、障害のない人と障害のある人が、医療者として互いに学び、共に働くことを具体的に考える構成となっています。

障害のある人が想定されていない教育は、障害のある人が受診しにくい医療をつくり出します。本特集の障害のある医療者からの体験報告は、医療者育成における「インクルーシブ教育」が、障害の有無による医療格差是正の鍵となることを示しています。

特集の目次を右に示します。全編をJ-STAGE*で閲覧、ダウンロードできます（QRコード-1）。また、視覚障害のある方に論文を音声化していただくためのテキストデータも学会HPに用意しました（QRコード-2）。

*J-STAGE: 学術雑誌のオンライン無料公開システム。文部科学省所管の独立行政法人科学技術振興機構(JST)が運営。

特集号目次

1. 企画の意図:
共に居るだけでなく、互いに学び合い共に働くための教育
2. 日本の高等教育機関における障害学生支援の基本と
医学教育における合理的配慮の課題
3. 医療職種に関連する法律における障害に係る欠格条項の問題
4. 障害のある医療者の体験
- 4-1 インクルーシブ教育と医学部シンドローム
- 4-2 聴覚障害のある医師
- 4-3 薬剤師とデフリンピック
- 4-4 うつ・てんかんのある看護師
- 4-5 発達障害(吃音)のある医師
5. 医学部教育におけるダイバーシティ推進
- 5-1 東京大学医学部におけるダイバーシティ、インクルージョン、
コ・プロダクションの学部教育
- 5-2 順天堂大学医学部の取り組み: ろう・難聴者への医療提供から得る学び
- 5-3 鳥取大学医学部における手話言語教育の取り組みについて
6. 米国ロチェスターにおけるろう・難聴者のための高等教育と医療者育成
7. 聴覚障害を持つ保健医療従事者の就労実態と課題
8. 色覚の多様性とカラーユニバーサルデザイン
9. 医療系学部受験における障害学生支援の課題
10. 障害のある医学生の実験における合理的配慮の方針
11. 医療者におけるインクルージョンの価値～共同創造の視点から～



1. 各論文PDF
へのリンク



2. 論文音声化用
テキストデータ

日本医学教育学会について

日本医学教育学会(小西靖彦理事長)は、医学教育に関する研究の充実・発展ならびにその成果の普及を目的として、全国医学部長病院長会議の賛同のもと1969年に設立されました。本学会には2600名余の個人会員、約250の機関会員が所属し、我が国の医療に貢献できる医療専門職の育成を目指し、様々な分野で活動を展開しています。学会機関誌『医学教育』は、卒前・卒後の医学教育だけでなく、歯学、看護学、薬学をはじめ広く医療者の育成に関する研究ならびに情報交換に資することを目的としています。



【本件に関するお問い合わせ先】

学会誌編集委員会委員長 武田裕子(順天堂大学教授)
E-mail: yu-takeda@juntendo.ac.jp
篠原出版新社『医学教育編集部』
TEL: 03-5812-4191 FAX: 03-5812-4292
E-mail: igakyou@shinoharashinsha.co.jp

【学会に関するお問い合わせ先】

日本医学教育学会事務局
担当: 赤間 咲
〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 学会支援機構内
TEL: 03-5981-6011 FAX: 5981-6012
E-mail: jsme@asas-mail.ac.jp